



ひっとべ! かがしま国文祭

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]

ひっとべ!
かがしま国文祭
国内最大の文化の祭典「国民文化祭」開催に向け、県内各地においてさまざまな取り組みが進められています。今回は、各地のイベントについてご紹介します。

県内各地でプレイベント開催中!

開催まで500日を切った「第30回国民文化祭・かがしま2015」に向け、県内各地でプレイベントが開催されています。かがしま国文祭では、県内43市町村でさまざまな文化に関する事業が開催されるため開催期間中は、外を歩けば「文化」に当たるほど盛り上がるのが予想されます。その盛り上がりは、現在各市町村で開催中のプレイベントで体感することができます。

「文化」というと一見とっつきにくそうなイメージですが、「食」や「温泉」、「ゆるキャラ」など身近な「文化」がテーマのイベントもありません。自分たちの町に縁のある人物に由来する文化事業など、市町村によってアプローチはさまざま。本番の雰囲気を感じて早く味わうために、ぜひ各地で開催されるプレイベントにお出かけください。

●「民謡・民舞“日本一”フェスティバル in あまみ」《奄美市》

奄美市では、「民謡・民舞“日本一”フェスティバル in あまみ」と「奄美芸能と黒潮文化の祭典」を開催します。



日本一の唄者が集う「民謡・民舞“日本一”フェスティバル in あまみ」。島の人々の生活の中に息づいている島唄は奄美の宝であり、皆に愛されています。奄美の島唄はウラ声を使う独特な唄い方として高く評価され、これまでに全国民謡大会において日本一を5人も輩出しています。それは、島口(島の方言)で唄われる島唄に幼い頃から地域で親しみ、学校でも島唄を学ぶなど多くの人が島唄の伝承に力を尽くしてきたからです。国民文化祭では、奄美市出身の日本一唄者も出演するほか、全国各地の民舞や伝統芸能も披露し、多種多様な文化の交流を図り、民謡・民舞の魅力を全国に発信します。

「奄美芸能と黒潮文化の祭典」は、舞台部門と展示部門を予定しています。舞台部門では、黒潮文化の流れを受けた奄美芸能文化と、全国各地の芸能文化が奄美の地で一堂に会します。また、展示部門では、“奄美の自然と文化”をテーマとした写真の全国公募展を開催します。来年秋、奄美市での国民文化祭をお楽しみください。



唄者 築地俊造さん



奄美市写真展 「アダン」



【お問い合わせ】
県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099(286)2863

「ひっとべ! かがしま国文祭の大会愛称ロゴマーク」の使用について

国民文化祭のロゴマークを定めています。ロゴマークを、皆さんがお使いの名刺、社内・社外資料、封筒などいろんな場面で活用していただき、国文祭を盛り上げご協力をお願いします。

※ご使用にあたっての詳細は、国民文化祭のホームページでご確認いただくか、国民文化祭室までお問い合わせください。

